

# THE PAUL TIMES

FRIDAY OCTOBER 12 2018

ポール  
初の

## 両国国技館公演

完売御礼

いよいよ目前に迫ったポール・マッカートニー  
「フレッシュ・アップ ジャパン・ツアー2018」  
先日発表された初の両国国技館公演は全席売り切れ!  
そしてこちらも初のナゴヤドームでの公演も  
全席種ソールド・アウト!!  
残すは東京ドーム2公演のS席のみ!!!  
偉大なレジェンドの最新ステージを見逃すな!



ポール・マッカートニー  
フレッシュ・アップ・ジャパン・  
ツアー2018

10月31日(水)、11月1日(木) 東京ドーム

11月6日(月) 両国国技館 **売り切れ!**

11月8日(木) ナゴヤドーム **売り切れ!**

公演公式サイト: <http://freshenup-japantour.jp/>

©MPL Communications / MJ Kim

### 「カム・オン・トゥ・ミー」の MVが公開!!

今週に入り公式Twitterで  
短い動画を続々と公開開始。  
10月8日に公開された  
3種類の動画はそれぞれ最後に  
「カム・オン・トゥ・ミー」のイントロが  
聞こえる!!



新しいミュージック・ビデオが公開かと  
話題になっていたところに、  
10月10日一番上のガードマンが登場する  
バージョンがMVとして公開された!!  
残る2つも公開されるのか?!  
うろご期待!!



### ポール・マッカートニー スペシャル・インタビュー

新作について、平和について、来日公演について語る。  
「フレッシュ・アップ」というタイトルで遂に始まった最新ワールド・ツアー。9月30日、  
4公演目となるカナダ・エドモントンで湯川れい子氏がポール本人にインタビューした。

聞き手 湯川れい子 (音楽評論家・作詞家)



#### イチバン!

湯川: ニュー・アルバム「エジプト・ステーション」の全米ビルボードでの1位、そして世界7か国での1位おめでとうございます。

ポール: ありがとう。イチバンサイコー! 日本でもだよ嬉しいね。

湯川: 「バック・イン・ブラジル」でイチバンと歌ったのは、ブラジルに日系人が大勢いることを知っていたからですか?

ポール: そう。イチバンという言葉自体は東京で教わった。誰かから言われ、「それ、どういう意味?」と聞いて、覚えた。そのあと、ブラジルを訪れマッサージしてくれた女性が日本人で、彼女ともイチバンという言葉について話したんだ。ちょうどその時「バック・イン・ブラジル」が書かれていて、1カ所、意味のないナンセンスな言葉を当てはめていた箇所があった。ヘチバン、みたいな言葉で、それがちょうどイチバンみたいに聞こえたんで、これならぴったり合うぞと思ひ、彼女に「サンパウロで誰か知り合いの日系人はいない?」と尋ねたんだ。日本国外でブラジルに最大の日本人(日系人)人口がいるのは知ってたからね。それで「知り合いの日系人いない?」と聞いたら「たくさんいます」って言うんで、「明日20人ぐらい集めてくれない?」と彼女に頼んだんだ。「イチバン!」と叫んでくれるだけでいいから」って。それでその彼女がSNSの知り合いを集めてくれることになった。「6時に?」「その時間だとまだみんな働いてる」「じゃあ7時?」「それだったら大丈夫」「オーケーじゃあ7時」。僕は空港に行く前、スタジオに寄り道をして、20人ぐらいの日系のエキストラと、あの部分をレコーディングしたんだ。とても楽しかったよ。

湯川: そうだったんですか。もし私たちにもそのチャンスがあったら、日本のオーディエンスは皆大きな声でイチバンって歌って参加しますよ。

ポール: そうだね。「バック・イン・ブラジル」を練習しておかないといけないね!

湯川: 「エジプト・ステーション」は本当に素晴らしいアルバムでした。そこにはジョン・レノンもジョージ・ハリスンもリンゴ・スターもザ・ビートルズも、あなたのキャリアも全て、そして私たちの思いも込められているような気がしました。

ポール: 嬉しいよ。作っていて楽しいアルバムだったよ。作る過程も楽しかったし、仕上がりがとても満足している。それだけの労力と心を込めたアルバムだからね。

湯川: エネルギーマンもたくさん?

ポール: エネルギーマンもたくさん、思いもたくさん、そして音楽もたくさん詰まっている。

#### ずっと好きな父親の言葉

湯川: 新作の「ディス・バイ・リピーティッド・ウォーニングス」や「ピープル・ウォント・ピース」といった曲からははっきりとしたメッセージが感じられたのですが、今の混乱した戦場的な社会へのメッセージと受け取っていいのですか?

ポール: うん。僕が子供の頃も世界各地で戦争が起きていて、僕は父親に聞いたことがあった。「人は平和が欲しいの?それとも人はどうかしちやってるの?」すると父は「いや、人は平和が欲しいんだよ。トラブルを起こすのは政府なんだ」と言った。その父親の言葉がずっと好きなんだ。「ディス・バイ・リピーティッド・ウォーニングス」は気候変動のことを歌っている。僕自身はどうかすべきだと思っている。何百万という人がそう思っている。僕1人じゃないんだよ。ところが政府の上の方には、気候変動は起きてないと言っている連中がいる。そのことを歌った曲なんだ。つまり信じない人達に対して言っているんだ。誰がなんといおうと、真実が何であれ、人の言う事に貸す耳を持たない船長は暴走を続け、いずれ僕らはタイタニック号みたいに船ごと氷山に突っ込んでしまう。多くの人が共感してくれる別のある考え方だと思っているよ。というか、そうであってほしい。

#### 二つの「初めて」

湯川: 今度の日本公演には二つの「初めて」があるのですが、ひとつは名古屋ドーム、もうひとつは国技館。まず名古屋は知っていますか?

ポール: 大都市だから名前だけは知っているよ。初めての場所に行くのはすごく楽しみなんだ。僕の半分は観光客の気分で、新しい街を見たりするのを楽しみにしている。もう半分は僕は、僕のコンサートを初めて見る初めてのお客さんと相手を演奏したいと思っている。新鮮だからね。まさにフレッシュ・アップさ。

湯川: もうひとつが、相撲の国技館です。日本人にとって神聖な場所であり、あなたはザ・ビートルズが武道館でそうしたように、またしても新しいレジェンド、歴史を作ることになるのですよ。

ポール: いいね!でもザ・ビートルズの時は何も知らなかったんだ。そうしたらまわりから、武道館は神聖な会場だから...、というようなことを言われて。僕にも伝統の重みは理解できる。でも今は昔よりは少し楽になったと思う。日本人も僕がやることを気にしていないといいんだけど。だって僕は相撲が大好きだからね。伝統が大好きなんだ。僕にとって相撲は本物のレスリング。何回か見ているよ。国技館で演奏するのをとても楽しみにしている。

#### みんなハッピーになってほしい。

湯川: 今回のツアータイトルの「フレッシュ・アップ」。新たに3人も新しいホーンセクションも入り、コンサートはさまざまな面でリフレッシュするという意味ですか?

ポール: ああ、新しくなるのはいいことだよ。オーディエンスの為にも。ニューアルバムからは新しい曲もやるし、僕らもすごくハッピーだよ。みんなもハッピーになってほしい。

(通訳 丸山京子氏)

### 最高のロック・レジェンド 5年ぶりのニュー・アルバム!

36年ぶりに全米アルバム・チャート1位を獲得!

### 『エジプト・ステーション』

大ヒット発売中!

CD: UICC-10040 / ¥2,600 (税抜) + 税 2LP  
[直輸入盤仕様]: UIJC-90001/2 / ¥7,800 (税抜) + 税  
2LP [カラーLP]: [直輸入盤仕様][Universal Music Store限定商品]  
PDJI-1041/2 / ¥8,600 (税抜) + 税

